

## 2022 年度第 3 回指導医制度委員会議事録

2022 年 8 月 23 日 7:00~7:30

WEB

参加者：田中信弘（担当理事）、相澤俊峰（委員長）、伊藤康夫、坂井顕一郎、  
竹林庸雄、出村 諭、平井高志、星野雅俊、宮崎正志、森本忠嗣、吉田 剛、  
渡邊航太、橋本顕二（事務局）（敬称略、50 音順）

担当理事挨拶、メンバーの自己紹介後、以下について審議した。

### 1. 2022 年度の継続申請、新規申請の見込み数について

事務局から以下のように報告があった。

- 受付期間が終了した「継続申請」では継続 284 名、名誉指導医 7 名、猶予審査 7 名である。
- 9 月 1 日から受付が始まる「新規申請」は例年通り 110 名程度が見込まれる。

### 2. 2022 年度の審査スケジュールについて

事務局から以下のように報告があった。

「継続申請」

- 7月1日～31日：継続申請の受付期間
- 8月1日～31日：事務局から継続申請の書類不備督促・再提出依頼
- 9月1日～10月末：事務局から各委員へ審査データを送信。継続申請の審査実施
- 11月1日～30日：1次審査結果に基づき、事務局から申請者へ書類再提出依頼
- 12月：委員会開催、あるいは担当理事、委員長で「保留」の申請者の合否判定。
- 2023年の1月か2月。結果を理事会に報告。

「新規申請」

- 9月1日～30日：新規申請の受付期間
- 10月1日～31日：事務局から新規申請の書類不備督促・再提出依頼
- 11月1日～11月30日：事務局から各委員へ審査データを送信。新規申請の審査実施
- 12月：委員会開催、あるいは担当理事、委員長で「保留」の申請者の合否判定。
- 2023年の1月か2月。結果を理事会に報告。

3. 審査の実際の留意点

相澤、田中担当理事、及び事務局から説明があった。

- 個人情報が含まれるので、取り扱いには十分注意する。また、審査後一定期間が経過したら、データは消去する。
- 書類の不備等は事務局で予め行うので、委員には、症例が適切かどうかを特に確認してもらいたい。200例あるいは300例に足りているか、申請不可とされる生検、経皮的小手術や、20例までとされるBKPを規定より多く含んでいないか、などである。
- BKP+後方固定術は通常の手術に含んで良い。
- 今年度の新規申請は症例がJSSR-DBに登録されているかどうかは関係ない。継続申請は2022年4月以降の症例はJSSR-DBに登録されている必要があるが、2022年4月以降の症例を提出する申請者は恐らく少ない。
- 留意点については、各委員にデータを送る際に、再度添付する。

4. 医療安全・感染防止対策・倫理等に関する単位取得証明について

現在、学会マイページの「単位取得履歴」の「【JSSR 医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修参加履歴】」では、2017年からのデータが反映されている。2023年更新の会員は「2019～2023年」の間に安全単位を取得する必要があり、すべて「単位取得履歴」の「【JSSR 医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修参加履歴】」のスクリーンショットで確認可能なため、HPの申請書類「受講証明書の場合は写真をオンラインで送付した上で原本を事務局に郵送する。」の文言について、「原本を事務局に郵送する」旨を来年（2023年度）から削除する。

（文責：相澤俊峰）